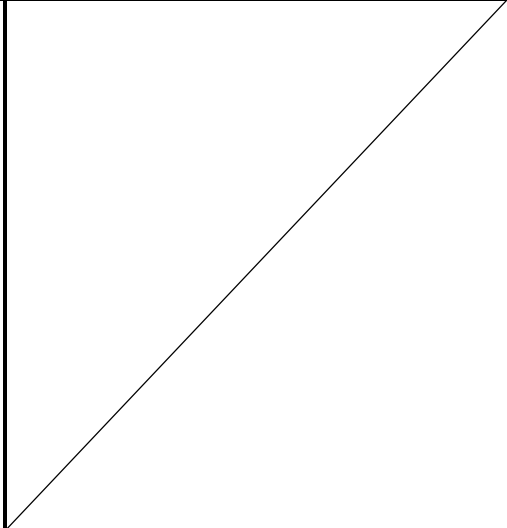
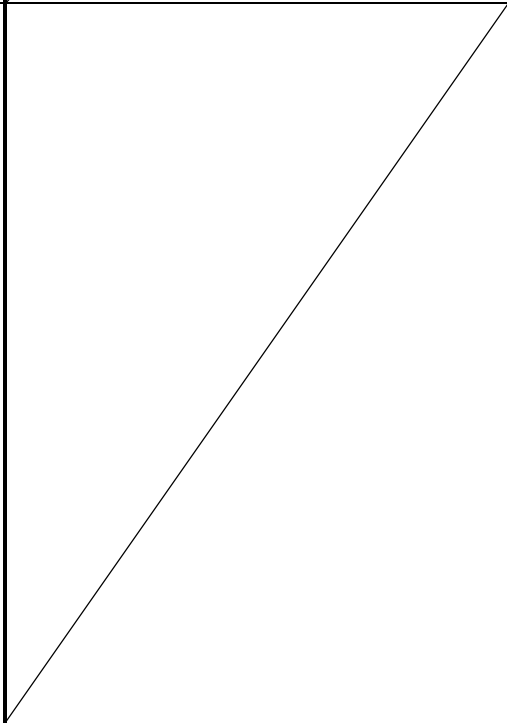
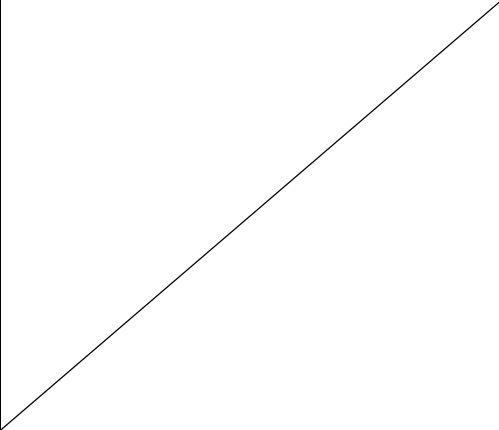


業務監査実施結果報告書

事業者名	愛知高速交通株式会社	実施期間	令和4年3月2日
検査箇所	本社、藤が丘駅、長久手古戦場駅、愛・地球博記念公園駅、八草駅		
監査項目	取組状況	所見	所見に対する回答
1. 利用者への情報提供に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> 現地調査を行った各駅において、鉄道運輸規程第4条に基づく運賃表、旅客列車の時刻表の備え付け、同第8条に基づく運賃表、時刻表の掲示について適切に実施されている。 多言語対応については券売機、チャージ機にて英語表記対応しているほか、自社ウェブサイト、藤が丘駅案内表示板では5カ国語（日本語、英語、中国語（簡体、繁体）、韓国語、タイ語）表示可能となっている。 輸送障害等発生時の利用者への情報提供については、自社ウェブサイトにおいて運行情報の提供のほか、駅構内、列車内では、電光式案内表示器に文字表示するとともに案内放送を実施している。 <p>また、災害時に外国人旅行者が自身で情報収集ができるよう、駅に日本政府観光局（JNTO）への連絡先、QR</p>	<ul style="list-style-type: none"> 今後とも、外国人旅客を含む利用者が、輸送障害等発生時に適切な行動判断が出来るよう、駅頭、ホームページ、案内放送等のツールや媒体を活用し、積極的な情報提供に取り組むことが期待される。 	

	<p>コードを掲示しているほか、駅及び列車内のWi-Fiは無料で利用できるようになっている。</p>		
2. 計画運休等に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> ・台風などによる大規模な輸送障害の発生が予測される場合に備え、「風水害タイムライン」を作成している。 ・計画運休を実施する場合は、タイムラインに基づき、自治体、沿線施設、報道機関等へ情報提供を行うこととなっている。 ・旅客の駅滞留を防ぐため、自社線と接続する他社線の計画運休の状況も把握しつつ運休計画を決定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運休が発生した際には、自治体等へタイムラインに基づいた情報提供を実施し、計画運休発生に備えて情報提供訓練などを実施することが期待される。 	
3. 他の交通モードとの連携に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> ・2016年にダイヤ改正を行い、愛知環状鉄道との乗り継ぎ利便性を向上させている。 ・長時間の運転見合わせが発生した場合に備え、事前に締結したバス会社に代替輸送を要請することとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後とも、利用者利便に配慮した対応が期待される。 	
4. 帰宅困難者対策に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模地震発生時における帰宅困難者への対応について、東海地震に係 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後とも、行政機関の開催する協議会へ参加するなど、行政や民間事業 	

	<p>る地震防災応急計画に基づき係員が一時避難場所・避難所へ誘導することとなっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訓練については、年に1回防災訓練を実施している。 ・備蓄品については非常食が藤が丘駅に配備されており、災害救援ベンダー機能付自動販売機と非常用トイレキットが藤が丘駅、八草駅に配備されている。 	<p>者等との連携強化を行い、教育・訓練を通じて災害発生時における旅客の避難誘導や帰宅困難者対策の充実に継続して取り組むことが期待される。</p>	
<p>5. 無人駅等における対応に関する事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全9駅中、終日無人駅は6駅である。 ・無人駅の管理等においては、運転指令に併設された遠隔監視箇所において、駅に設置したカメラにより集中監視しており、駅に設置されたインターホンにより旅客からの各種問合せに対応している。 ・車椅子利用者等が無人駅を利用し介助が必要な場合、必要に応じ係員を派遣できる体制が構築されている。 ・利用者の安全確保のため、全駅に監視カメラの設置に加えホームドアが設置されている。 ・列車及びホームドアは全て自動であ 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後とも、高齢者や障害者の方々が不便なく利用できるよう、緊急時の連絡体制の整備や要員確保を行うとともに、駅員による巡回・見守り、施設面での整備など、ソフト・ハード面の取組の継続が期待される。 	

	<p>り、ホームドアと車両間のセンサー、運転指令による遠隔監視により安全に乗降できるよう対策を講じている。</p> <ul style="list-style-type: none">・周辺の障害者施設の有無や利用実態についても把握しており、利用者の要望に合わせて旅客対応を行っている。		
--	---	--	---